

型式 LFB2000K1

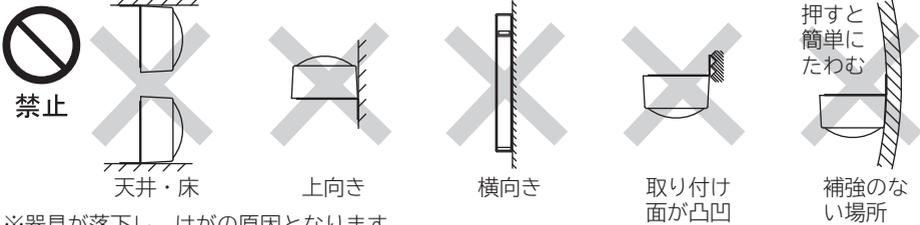
このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

## 安全上のご注意

### 警告

●このような場所には取り付けない（この器具は壁取り付け専用です）



※器具が落下し、けがの原因となります。

●器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼する  
※しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。

●器具の改造、構成部品の交換はしない

※火災・感電・故障の原因となります。

●器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない

※感電・故障の原因となります。

●器具に布や紙・ポリ袋などをかけない

※過熱し、火災の原因となります。

●適合器具以外を取り付けない

※器具が落下し、けがの原因となります。

適合器具 LFB2001 LFB2002

## 器具を取り付ける前に

■取り付け工事される方へ…取り付け工事が終わりましたら、この説明書はお客様にお渡しください。

●器具は強度的に十分な場所（補強材のある場所など）に取り付ける。

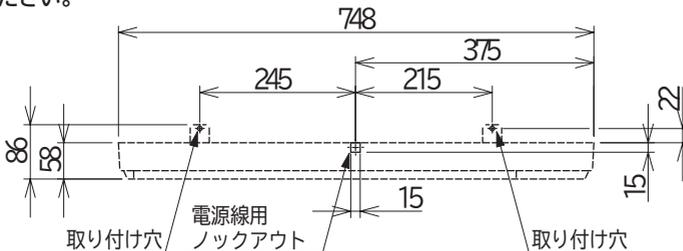
※強度的に不十分な場所（板厚の薄い場所やテックスなど）は、器具の落下によるけがの原因となります。



プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない。

禁止 ※器具の落下によるけがの原因となります。

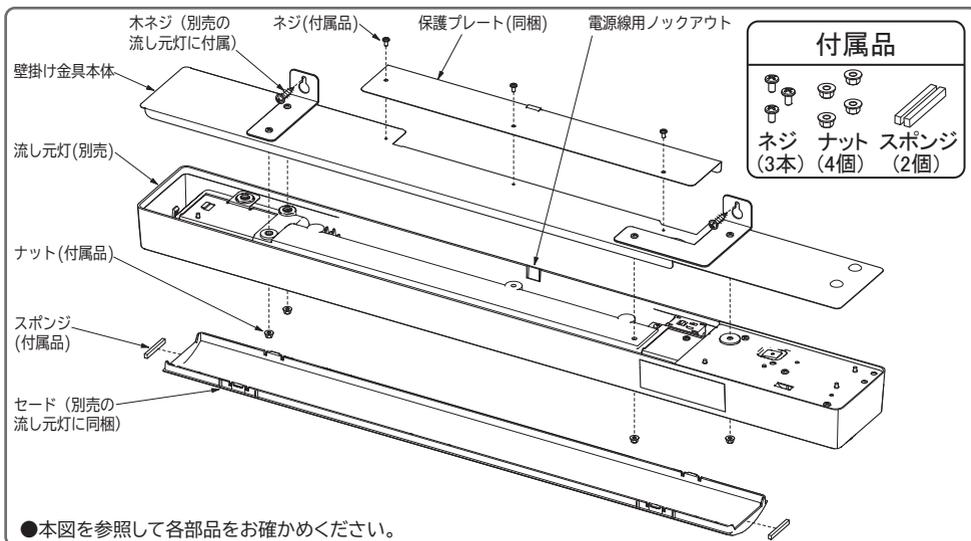
●器具は、取り付け穴を使用して、流し元灯付属の木ネジ2本で野縁等補強材のある所に取り付けてください。



施工壁面の正面から見た取り付け穴・電源線用ロックアウト位置（単位：mm）

# 各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。



●本図を参照して各部品をお確かめください。

# 器具の取り付け方

必ず電源を切ってから作業をしてください。

1

## 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



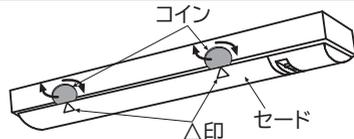
●器具の取り付けの際は、電源を切る

必ず守る ※電源を切らないと感電の原因となります。

2

## 別売の流し元灯に付いているセードを外す

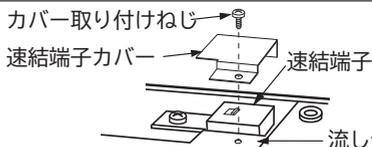
●セードの表面の△印部分(左右2か所)にコインを差し込みねじってセードを取り外してください。



3

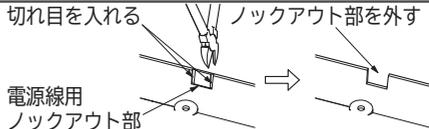
## カバー取り付けねじを外し、速結端子カバーを取り外す

壁掛け金具を使用する場合、速結端子カバーおよびカバー取り付けねじは使用しません。



4

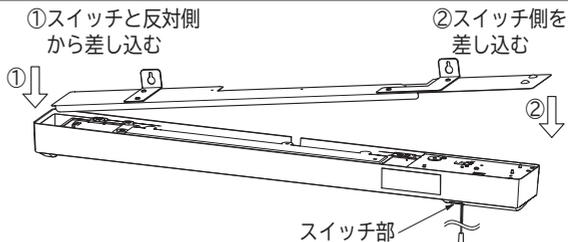
## ニッパー等を用いて流し元灯中央部の電源線用ノックアウト部に切れ目を入れ、取り外す



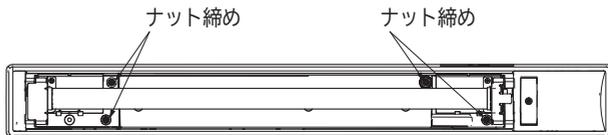
5

## 流し元灯の内側に壁掛け金具を差し込む

●壁掛け金具を差し込む際は図の順番で作業すると差し込みやすくなります。



**6** 付属のナット (M3) で  
流し元灯と壁掛け金具を  
固定する (4か所)



**7** 電線を流し元灯の速結端子台に接続する

接続のしかた	解除のしかた
<p>電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。</p> <p>●適用電線…φ1.6, φ2.0単線</p> <p>差し込む電線 → ゲージ → 速結端子 → 電線接続穴</p>	<p>⊖ドライバーで電線外し爪を解除方向に強く押し当て、電線をひっぱってください。</p> <p>ひっぱる ← 解除方向 → 電線はずし爪</p> <p>電線 ⊖ドライバー</p>

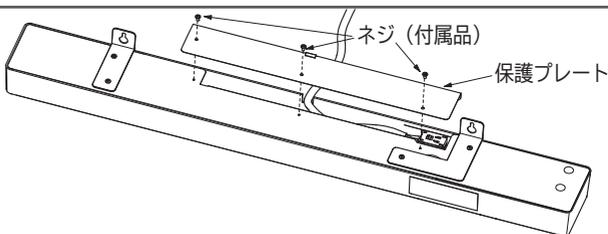
**!** ●電線の接続作業時は必ず電源を切る。  
※電源を切らないと感電の原因となります。

**必ず守る**

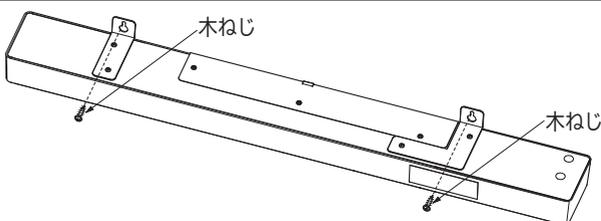
●確実に電線を接続する。  
※接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災・感電の原因となります。

**8** 付属のネジ (M3) で保護  
プレートを取り付ける (3か所)

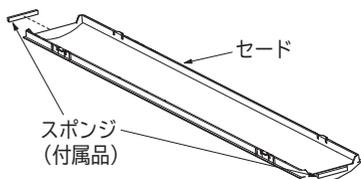
**!** ●保護プレートは、必ず取り付ける。  
注意 ※過熱時の延焼防止のためです。



**9** 本体を流し元灯付属の木ねじ  
で壁面に取り付ける (2か所)

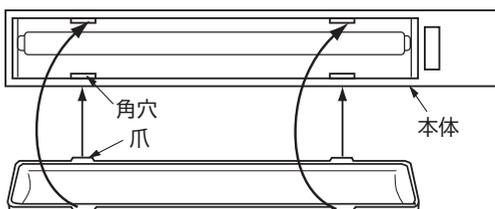


**10** 付属のスポンジ (粘着剤付き) をセードの両端部に  
貼り付ける



**11** セードの片側の爪を本体の角穴に  
差し込みセードを本体に押し付けて  
反対側の爪も角穴に押し込んで  
ください。

**!** ●取り付け後、セードを軽くひっぱり確実に付いているか確認する。  
**必ず守る**  
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



# 保守とお手入れ

 <p><b>必ず守る</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取り付け、取り外し、お手入れの際は、必ず電源を切る  <b>壁スイッチやブレーカを切る</b>  <small>※電源を切らないと、感電の原因となります。  <small>※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。</small></small> </li> </ul>	 <p><b>禁止</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない  <small>※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。</small></li> </ul> 
 <p><b>必ず守る</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす                  汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる  <small>※石けんとは、天然油脂を原料としたものです。                  (商品表示が“石けん”であることを確認してください。)</small> </li> </ul>		

## アフターサービス

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません

### 日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。  
 ※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口		修理に関するご相談窓口	
TEL	0120-3121-11	TEL	0120-3121-68
携帯電話・PHSから	050-3155-1111 (有料)	携帯電話・PHSから	0570-0031-68 (有料)
FAX	0120-3121-34	FAX	0120-3121-87
(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日) 年末年始は休ませていただきます。		(受付時間) 9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)	

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03) 3502-2111